

て、これこれこういう将棋でしたと語ったところ、芹沢九段は一瞬にしてその敗着を指摘したという。

気象学も同じことではないかと思う。四角四面の学会発表や印刷論文よりも、私は酒を飲みながらの雑談の中にキラリと光る言葉を見つけることのほうが好きである。私にとって、地球と大気は、いつどんな角度から眺めても、旨い酒の肴のように遊びごころを楽しませてくれる。そしてそのような遊びごころの中にこそ本当の学

問があるのではないかと考えている。

これは決して教科書的な勉強を否定しているのではない。テキストに書かれている事実や知識を正しく理解することは学生にとってのイロハである。問題はそれをどう活用するかである。この気象談話室シリーズが、そのような意味で気象の世界の翼を自由にひろげるひとつのきっかけとなることを願っている。

日本気象学会誌 気象集誌

第II輯 第66巻 第1号 1988年2月

野田 彰：一般座標系における GLM (一般化されたラグランジ平均) 記述

田平 誠：大気中におけるインフラソニック波の長距離伝播に関する研究

(I) 熱圏ダクト内を伝播する火山性インフラソニック波の観測

田平 誠：大気中におけるインフラソニック波の長距離伝播に関する研究

(II) 熱圏ダクトの伝播における波形変化の数値的研究

斎藤 定・田中 浩：前線付近に発生する帯状降雨域の形成メカニズムとしての条件付対称傾圧不安定の数値実験 第II部 水蒸気補給の効果

大西外史・板東 聡：相模平野における冬の海陸風について 2. 三次元モデル

鬼頭昭雄・山崎孝治・時岡達志：アフリカ熱帯多雨林の土壌水分及び地面アルベドの変化が夏季気候に及ぼす影響 —MRI・GCM-1 による数値実験

児玉安正・浅井富雄：GMS 赤外雲画像を用いた雲の広域分布とその季節変化の解析

Ramasamy Suppiah：インド洋の海面水温とスリランカの降水量との関係

住 明正・豊田威信：チベット高原付近の大気の流れの観測的研究

菊地勝弘・堀江成人・播磨屋敏生・近野好文：北海道オロフレ山系の山岳性降雨

山本 晋・蒲生 稔・横山長之：混合層上部における比湿の鉛直分布および水蒸気交換過程の飛行機観測

伍 培明・小野 晃：都市大気における個々の硝酸イオンを含むエアロゾル粒子の特性X線分光分析

荒生公雄・田中正之：太陽周辺光の測光学的特性と色度特性

要報と質疑

Richard S. Lindzen・Ka-Kit Tung：高橋正明：過剰反射のないシアア不安定について

(気象集誌64巻793-80ページ) へのコメント

高橋正明：回答 (Lindzen and Tung のコメントに対して)

斎藤和雄・馬場 厚：GMS 観測に基づく相対湿度と雲量の統計的關係

榑原 均・石原正仁・柳沢善次：1984年1月の豪雪期間に北陸西部で観測された中規模降雪系の分類